

平成25年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月12日

上場会社名 株式会社ティー・ワイ・オー 上場取引所 大
 コード番号 4358 URL http://group.tyo.jp
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)吉田 博昭
 問合せ先責任者(役職名)常務取締役 経営戦略本部長 (氏名)上窪 弘晃 (TEL) 03-5434-1586
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第3四半期の連結業績(平成24年8月1日~平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第3四半期	18,008	2.1	1,167	△14.8	1,064	1.6	632	△22.2
24年7月期第3四半期	17,642	3.0	1,371	17.5	1,047	12.0	813	6.7

(注) 包括利益 25年7月期第3四半期 651百万円(△21.7%) 24年7月期第3四半期 831百万円(11.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第3四半期	10.58	10.14
24年7月期第3四半期	13.61	13.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年7月期第3四半期	13,162	4,171	30.4
24年7月期	12,437	3,618	28.0

(参考) 自己資本 25年7月期第3四半期 4,007百万円 24年7月期 3,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年7月期	—	0.00	—		
25年7月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年8月1日~平成25年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	3.5	1,600	10.5	1,400	28.0	700	△37.5	11.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年7月期3Q	59,736,930株	24年7月期	59,736,930株
25年7月期3Q	608株	24年7月期	608株
25年7月期3Q	59,736,322株	24年7月期3Q	59,736,416株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の財政問題や中国をはじめとした海外経済情勢への懸念等、不透明な状況が続いておりましたが、昨年末の政権交代以降、金融・経済政策への期待感から円安や株価上昇など景気回復に向けた兆しが見え始めました。

国内広告市場（注1）においては、平成24年の総広告費は5兆8,913億円（前年比103.2%）と、5年ぶりの増加に転じ、平成24年のテレビ広告費についても、1兆7,757億円（前年比103.0%）と2年ぶりに前年を上回り回復傾向にあります。当社グループの主力事業であるTV-CM制作市場は、平成22年以降堅調に拡大しており、テレビ広告費に占める割合も上昇しております。また、インターネット広告費及びインターネット広告制作費も年々増加しており、当社グループのビジネス機会は拡大しております。

このような市況環境の下、当社グループは、平成23年9月に策定いたしました「TYOグループ中期経営計画（注2）」に基づき、事業展開を継続してきた結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高18,008百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益1,167百万円（前年同四半期比14.8%減）、経常利益1,064百万円（前年同四半期比1.6%増）、四半期純利益632百万円（前年同四半期比22.2%減）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額63百万円が含まれております。

また、当社グループは、「TYOグループ中期経営計画（注2）」において、平成26年7月末までに自己資本比率30%以上という経営指標を掲げ、当社グループはこれを達成すべく、収益力の強化並びに有利子負債の圧縮に努めてまいりました。その結果、自己資本比率は計画を上回って推移し、当第3四半期連結会計期間末時点において、30.4%に到達いたしました。当社グループは、引き続き積極的な事業活動を展開し、財務基盤の更なる強化に努めてまいります。

（注1） 「2012年 日本の広告費」（株式会社電通）によります。

（注2） 中期経営計画の詳細につきましては、平成23年9月15日に発表した「TYOグループ中期経営計画」をご覧ください。

セグメント別の概況は次の通りであります。

①TV-CM事業

当事業は、主として広告代理店向けにTV-CMの企画・制作及びポスト・プロダクション業務を行っております。

広告代理店や広告主が広告制作会社に対して安心感・信用力を求める動きを背景として、TV-CM制作業界では、大手制作会社に案件が集中する傾向が続いております。このような業界環境の下、当事業では、価格競争力をはじめとした大手1社であることの優位性及び広告映像制作の企画・制作機能を武器に積極的な営業活動を展開したことで、飲料、衣料、自動車業界等を中心として受注状況が好調に推移し、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。また、従来からのTV-CM制作に加え、インフォマーシャル（注3）制作にも注力していることも、売上高の拡大に寄与しております。

一方で、案件受注が堅調に推移していることに伴い一部業務の外部委託が増加したことに加え、当社グループ全体で労務環境の改善及び離職率低減を目的として十分な人員確保に努めたことにより、人件費が増加した結果、営業利益は前年同四半期比で減少いたしました。

以上の結果、当事業は売上高13,129百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益2,257百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額13百万円が含まれております。

②マーケティング・コミュニケーション事業

当事業は、主として広告主向けにWEB広告及びプロモーションメディア広告の企画・制作等、クロスメディア広告業務を行っております。

当事業の業績については、昨年9月までに、不採算であったGreat Works グループの海外子会社を連結除外したことに伴い、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。一方、国内の既存事業においては、広告主の発注経路の短縮化への要請に対応すべく、企画・提案機能を強化した結果、TV-CMやWEB、グラフィック、セールスプロモーション等を一括受注するクロスセル案件をはじめとして幅広い案件を獲得した結果、売上高は前年同四半期比で増加しております。

また、利益面については、当事業内の一つのブランド（テオーリア）において、業績が大幅な予算未達となったこと等により、当事業全体で営業損失を計上しております。当該ブランドは、固定費を賄うだけの売上の確保ができない状況が続いていたため、抜本的な固定費の削減に努めてまいりましたが、当社グループ内において収益性の改善は困難であると判断したこと、及び今後の事業の方向性の違いが明確になったことにより、本年5月31日に事業譲渡を実施いたしました。今後はマーケティング・コミュニケーション事業全体で営業力の強化及び収益構造の改善に向けて、徹底した収益管理に取り組んでまいります。

以上の結果、当事業は売上高3,928百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業損失43百万円（前年同四半期は290百万円の営業利益）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額49百万円が含まれております。

（注3） 通信販売やテレビショッピング等の商品情報を紹介するコマーシャル映像のこと。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて724百万円増加し、13,162百万円となりました。主な要因は、繰延税金資産（流動及び固定）が246百万円、無形固定資産が33百万円減少しましたが、仕掛品が528百万円、受取手形及び売掛金が238百万円、有形固定資産が100百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて172百万円増加し、8,991百万円となりました。主な要因は、長期借入金が525百万円、未払金が244百万円それぞれ減少しましたが、買掛金が408百万円、前受金が302百万円、未払法人税等が74百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて552百万円増加し、4,171百万円となりました。主な要因は、配当金の支払により119百万円減少しましたが、四半期純利益の計上により632百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成24年9月13日に公表いたしました、平成25年7月期通期の業績予想に変更はありません。通期業績予想については現在精査中ではありますが、通期業績予想数値が確定次第、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,653,301	2,657,642
受取手形及び売掛金	3,394,512	3,632,927
仕掛品	1,565,380	2,094,364
原材料及び貯蔵品	6,504	6,270
繰延税金資産	228,981	275,575
その他	189,798	239,959
貸倒引当金	△27,067	△23,550
流動資産合計	8,011,411	8,883,189
固定資産		
有形固定資産	1,989,499	2,089,989
無形固定資産		
のれん	381,828	318,616
その他	67,037	96,999
無形固定資産合計	448,865	415,616
投資その他の資産		
投資有価証券	88,897	132,354
出資金	15,175	3,621
繰延税金資産	639,649	346,566
保険積立金	857,131	899,599
差入保証金	348,206	353,642
破産更生債権等	754,251	754,161
その他	40,937	40,047
貸倒引当金	△756,251	△756,161
投資その他の資産合計	1,987,997	1,773,832
固定資産合計	4,426,362	4,279,438
資産合計	12,437,773	13,162,627
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,513,489	2,922,272
短期借入金	—	60,000
1年内返済予定の長期借入金	700,000	700,000
未払金	723,672	479,374
リース債務	115,838	131,354
未払法人税等	55,737	129,783
前受金	155,057	457,651
賞与引当金	5,509	5,214
資産除去債務	5,600	—
その他	82,020	88,318
流動負債合計	4,356,926	4,973,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
固定負債		
長期借入金	3,950,000	3,425,000
リース債務	175,281	225,791
退職給付引当金	16,202	14,753
役員退職慰労引当金	258,771	278,871
資産除去債務	61,541	72,667
その他	409	162
固定負債合計	4,462,206	4,017,246
負債合計	8,819,133	8,991,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,751,057	1,751,057
資本剰余金	747,189	747,189
利益剰余金	1,000,066	1,512,812
自己株式	△109	△109
株主資本合計	3,498,203	4,010,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,338	△3,874
為替換算調整勘定	△2,781	—
その他の包括利益累計額合計	△14,119	△3,874
新株予約権	61,226	87,927
少数株主持分	73,329	76,410
純資産合計	3,618,639	4,171,411
負債純資産合計	12,437,773	13,162,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)
売上高	17,642,910	18,008,206
売上原価	13,921,143	14,656,879
売上総利益	3,721,766	3,351,327
販売費及び一般管理費	2,350,713	2,183,569
営業利益	1,371,053	1,167,757
営業外収益		
受取利息	1,028	239
保険返戻金	8,421	799
組合出資分配金	26,370	24,581
その他	37,035	15,718
営業外収益合計	72,855	41,338
営業外費用		
支払利息	70,756	60,571
売上債権売却損	41,105	40,967
為替差損	35,505	293
組合出資減価償却費	15,884	14,006
シンジケートローン手数料	198,650	9,075
借入金繰上返済費用	3,096	—
支払手数料	15,000	14,999
その他	16,289	5,025
営業外費用合計	396,287	144,939
経常利益	1,047,621	1,064,156
特別利益		
関係会社株式売却益	—	18,035
立退補償金	5,879	—
その他	6,096	1,191
特別利益合計	11,976	19,226
特別損失		
固定資産除却損	11,955	11,919
関係会社株式売却損	200,303	29,531
債権売却損	105,765	—
会員権評価損	14,922	—
その他	20,983	2,332
特別損失合計	353,930	43,783
税金等調整前四半期純利益	705,666	1,039,599
法人税、住民税及び事業税	128,013	162,055
法人税等調整額	△209,803	236,550
法人税等合計	△81,790	398,605
少数株主損益調整前四半期純利益	787,457	640,994
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△25,563	8,775
四半期純利益	813,021	632,218

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	787,457	640,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,427	7,537
為替換算調整勘定	43,647	2,781
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,084	—
その他の包括利益合計	43,990	10,318
四半期包括利益	831,447	651,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	843,900	642,463
少数株主に係る四半期包括利益	△12,452	8,848

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年8月1日至平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティング・コミュニケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	12,533,711	4,384,498	16,918,210	724,700	—	17,642,910
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80,818	159,232	240,051	62,600	△302,651	—
計	12,614,530	4,543,730	17,158,261	787,300	△302,651	17,642,910
セグメント利益	2,328,588	290,797	2,619,386	54,333	△1,302,666	1,371,053

(注) 1 その他は、アニメーション、ミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額△1,302,666千円には、セグメント間取引消去66,711千円及び全社費用△1,369,377千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年8月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティング・コミュニケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	13,129,041	3,928,173	17,057,214	950,991	—	18,008,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	491,502	35,885	527,388	20,002	△547,390	—
計	13,620,544	3,964,058	17,584,602	970,994	△547,390	18,008,206
セグメント利益	2,257,753	△43,965	2,213,787	92,059	△1,138,090	1,167,757

(注) 1 その他は、アニメーション、ミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額△1,138,090千円には、セグメント間取引消去93,588千円及び全社費用△1,231,679千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正

に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。